

# ひょうご障害者総合トレーニングセンター(仮称)整備基本構想の概要

## 1 背景・目的

東京2020パラリンピック競技大会やワールドマスターズゲームズ2021関西を目前に控え、障害者スポーツへの関心が高まっている。このような状況の中、県立総合リハビリテーションセンター内(神戸市西区)の福祉施設の移転が計画されている。これを契機に、障害者スポーツのさらなる振興のため、当該福祉施設の跡地における「ひょうご障害者総合トレーニングセンター(仮称)」の整備について検討することとした。

## 2 基本方針

### (1) ユニバーサルデザインを施し、誰もが利用しやすい施設とする。

- 視覚障害者や聴覚障害者が音声や文字情報を得られるようWi-Fi(ワイファイ)を整備
- 傘をさせない車いす使用者が雨天時でも利用しやすいよう屋内駐車場を整備
- 家族などの異性でも利用できる介助者同伴更衣室を整備 等

### (2) 県内における障害者スポーツの中核拠点である県立障害者スポーツ交流館との一体的な運営による相乗効果・相互補完により、中核拠点としての機能の充実を図る。

- 交流館とトレーニングセンターを渡り廊下で繋ぎ一体的に運営
- 県大会等の開催に対応した観覧スペースを設け、中核拠点としての機能を充実
- 県内パラリンピアン等のメダル等の展示や競技の紹介を行い、障害者スポーツを普及 等

### (3) 県内の障害者スポーツ競技団体等のニーズに合った、多くの利用が見込まれる施設とする。

- 競技団体へのアンケートを踏まえた施設を整備
- 近隣府県の施設においてニーズの高い施設(卓球室、温水プール)を整備 等

### (4) しあわせの村などの他のスポーツ施設等と連携し、役割を分担して、障害者スポーツの振興や健康・長寿を支える施設環境を効率的に整備する。

- 競技団体へのアンケートでも整備希望のあったローンボウルズ場や野球場等の屋外施設については、近隣のしあわせの村等の施設を利用してもらい、屋内施設を中心に整備 等

### (5) 総合リハビリテーションセンター内の各機関や企業、大学等と連携し、パラアスリートの義足の開発や動作分析、リハビリテーション中央病院でスポーツ障害の治療体制が構築された上は、治療を終えたアスリートの復帰支援など、アスリートを総合的にサポートする施設とする。

- 健康・体力相談室を設け、スポーツトレーナーを配置
- 福祉のまちづくり研究所等と連携し、個々のパラアスリートのニーズに応じた義足等を開発・提供 等

### (6) 障害者間はもとより、障害者と健常者の交流の場となる施設とする。

- 資料展示室(兼談話室)や観覧スペースなど、障害者・健常者が障害者スポーツを知る場、交流のきっかけとなる場を整備
- 研修室など、ボランティア育成の場を整備
- 障害者と健常者の交流イベントを実施 等

### (7) 障害者の利用予約の受付開始日を健常者よりも早めに設定するなど障害者優先の施設とする。

- 健常者よりも数か月早く障害者の予約を受付 等

## 3 主な施設内容

室名	現状と課題(競技団体へのアンケート等から)
アリーナ (バスケット2面)	・既存施設(障害者スポーツ交流館)の稼働率が98%と高く予約がとれない。 ・車いすバスケットは床を傷めるため、利用できる施設が少ない。
卓球室 (常設6台程度)	・卓球台の出し入れは転倒事故の恐れがあるため、卓球台常設の卓球室が必要。 ※既存施設では一般卓球台26台、サントテーブルテニス5台を保有。
トレーニング室 兼体力測定室	・新たなトレーニングマシンや筋力等を測定できる設備の導入を求める声がある。 ※既存施設からトレーニング室を移転し、倍程度に広げる。
健康・体力相談室	・障害者の身体機能の維持や、リハ中央病院で治療を終えたアスリートの復帰をサポートするスポーツトレーナーが求められている。
温水プール (25m×6コース程度)	・家族などの異性でも利用できる介助者同伴更衣室があり、障害者専用の時間やコース貸切制を設けている障害者が利用しやすい温水プールが少ない。
多目的運動場 (アーチェリー、フットサル、クライミング等)	・アーチェリー場のニーズが高いが、現状では既存施設の観覧スペースに仮設の練習場を設けて練習しており、安全面で問題がある。
会議室、研修室	・競技団体の会議や、指導者の研修、大会運営、文化活動等のための部屋が必要。既存施設にはない。
資料展示室 兼談話室	・県内に障害者スポーツに関する展示や情報発信、資料保存のためのスペースがない。

※参考：既存施設(障害者スポーツ交流館)の施設内容

アリーナ(バスケット2面)、トレーニング室(新施設に移転後、会議室に変更)

## 4 整備スケジュール

区分	2018年度 (H30年度)	2019年度 (H31年度)	2020年度 (H32年度)	2021年度 (H33年度)	2022年度 (H34年度)
基本構想 (検討委員会の開催)	→		★ 8/25~9/6	★ 5/14~30	
基本設計	ハフリックコメント	→	東京パラリンピック	ワールドマスターズゲームズ関西	
実施設計		→			
既存建物解体工事			⇒		
建設工事			→	→	
備品整備				→	
開設					●

※開発許可の要否等により、センターの開設時期が延びる場合あり。